

全国学力・学習状況調査 南相馬市調査結果（令和7年度）

全国・福島県・市内小学6年生の平均正答率（%）

国語・算数・理科（平均正答数/設問数）

教科	国語	算数	理科
全国	66.8	58.0	57.1
福島県	65	55	56
南相馬市	61	56	52

南相馬市立石神第二小学校 全国学力・学習状況調査分析

- 実施日 令和7年 4月17日（木）
- 調査対象 第6学年児童（59名）
- 調査内容（1）教科に関する調査（国語・算数・理科）
（2）学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査
- 調査結果

（1）教科に関する調査

各教科において、全国平均正答率を下回る結果となった。国語科においては、無回答率が低く、最後まで粘り強く問題を読み解こうとする児童が多かった。算数科においては、知識・技能を問う問題（数と計算や図形の問題）に関しては比較的正答率が高いが、思考力や判断力を問う問題（応用問題）に関しては課題が残った。理科においては、粒子領域（水のあたたまり方や蒸発）に関しては正答率が高い問題もあり、また、無回答率が低い傾向にあった。

（2）児童・生徒質問調査

友人関係に満足しており、いじめはどんな理由があってもいけないことだと感じている児童が多い。読書を好む傾向にある。しかしながら、自己有用感や将来への希望については意識が低い傾向にある。各教科の学習に対する興味関心、タブレット端末などICT機器を活用した授業についての回答も低い傾向にある。

5 学力向上の取り組み

- 基礎・基本を確実に定着させ、できる喜び、わかる嬉しさを味わわせるとともに、一人一人に応じた指導や声かけ、称賛を行う。
- 学習してまとめたことを活用する「ふり返し」の時間を確保し、もう少しでできる問題、できそうな問題に数多くチャレンジすることができるようにする。
- ICT機器（タブレット端末等）を今まで以上に活用し、児童が主体的に学びに取り組み、一人一人の学習への関心や進度、難易度に応じた個別最適な学習に取り組めるようにする。

6 保護者の皆様へ

- 家族の一員としての役割（仕事）を与えるとともに、遊びと学習の時間などについて家庭内のルールを守る習慣を身に付けさせてください。
- 学習への取組の良さや家族への思いやりあふれる言動などを褒めて認めてあげてください。